

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会  
SPARC 小委員会 (第 25 期・第 3 回) 議事要旨

1. 日時：令和 5(2023)年 3 月 17 日(金) 9:30~10:30

2. 会場：遠隔会議 (Zoom) (主催会場：九州大学)

3. 出席者

委員：佐藤 薫、秋吉 英治、江口 菜穂、河谷 芳雄、小林 ちあき、田口 正和、富川 喜  
弘、原田 やよい、廣岡 俊彦、藤原 正智、堀之内 武、渡辺 真吾

オブザーバー：木下 武也、高麗 正史、坂崎 貴俊

欠席者：菅原 敏、三好 勉信、余田 成男

4. 配布資料

資料 1：議事次第

5. 議事内容

(1) JpGU 連合大会での SPARC セッションの準備状況について

担当の田口委員から、23 件の投稿があり、2 コマの口頭発表枠となったこと、招待講演 6 件を決定した旨報告があった。

(2) 日本気象学会秋季大会での専門分科会の準備状況について

講演企画委員会に専門分科会の申込を行った旨、オブザーバーの高麗氏からの報告があった。

(3) 「日本の気象学の現状と展望 2024」および「日本の中層大気研究の現状と展望」の執筆計画について

佐藤委員長から、「日本の中層大気研究の現状と展望」執筆計画の背景説明があった。続いて河谷委員から「日本の中層大気研究の現状と展望」の執筆項目案の提示があった。スプレッドシートを活用しつつ、執筆項目に関して議論し、項目の整理を行った。「日本の中層大気研究の現状と展望」の分量は 20 ページ程度、そのアブストラクトを「日本の気象学の現状と展望 2024」に掲載することになる。

(4) その他

IUGG ICMA の改選が行われるので、SPARC-J コミュニティで候補者の選定をしておく必要がある。